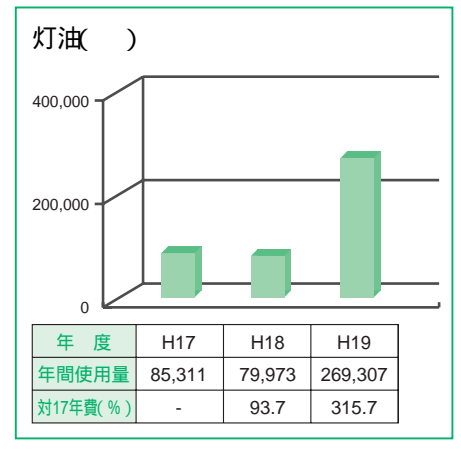
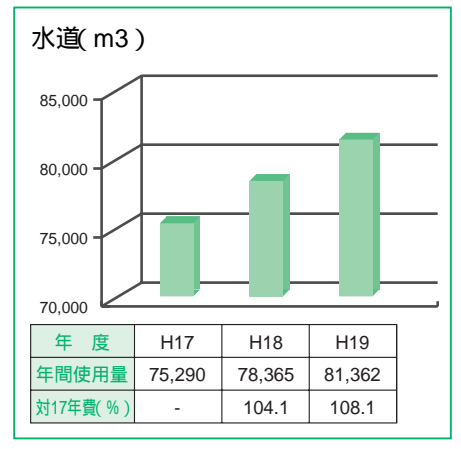
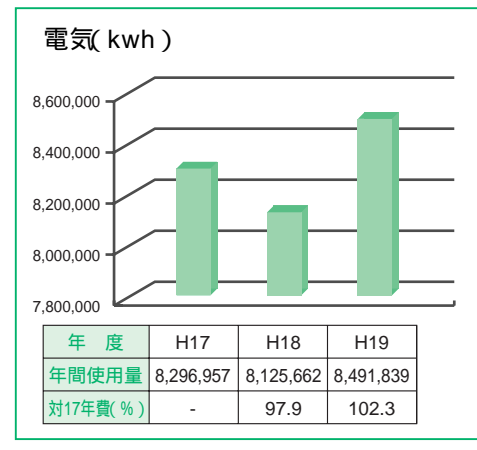


ISO14001 活動結果のお知らせ

可児市役所は、率先して環境保全活動に取り組み、市役所の諸業務に伴う環境負荷を軽減するため、平成12年12月に環境管理の国際規格であるISO14001認証を取得しました。現在、小中学校を除く全ての施設において継続的な環境保全活動に取り組んでいます。この3年間は、それぞれの項目で、平成17年度の数値以下に抑えることを目標に取り組んできました。結果として、施設の改修などの要素が反映し、目標達成に到らない項目もありましたが、今後も引き続き努力していきます。

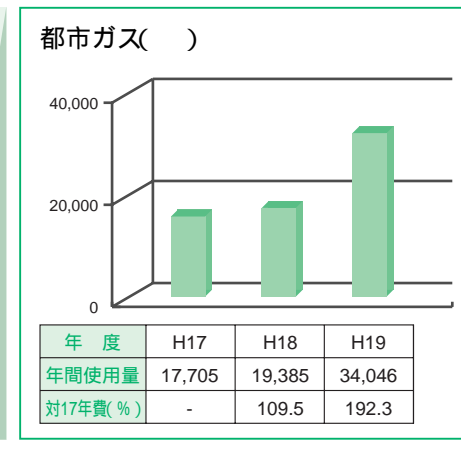
電気・水道・灯油の使用量

庁舎および関連施設で使われる光熱水のうち、電気・水道・灯油の使用量については、目標値である平成17年度に比べ、いずれも増加しました。その主な理由は、庁舎の増築・新学校給食センターの稼働があげられます。



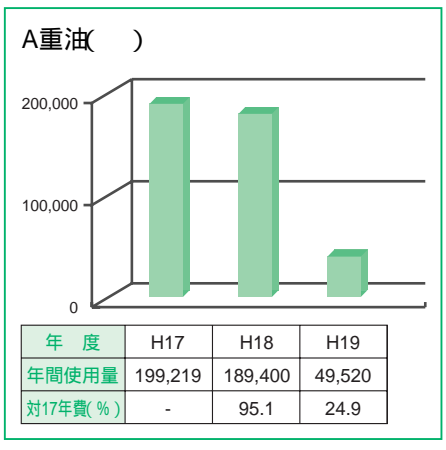
都市ガスの使用量

都市ガスの増加原因は、総合会館の使用燃料がA重油から都市ガスに変更したことが主なものです。



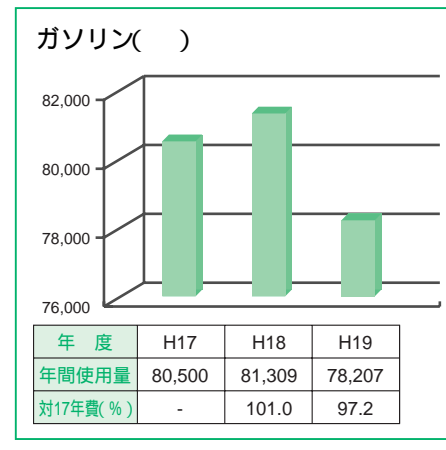
重油の使用量

A重油の減少原因としては、旧学校給食センターの減分と総合会館の使用燃料を都市ガスに変更したことが主なものです。



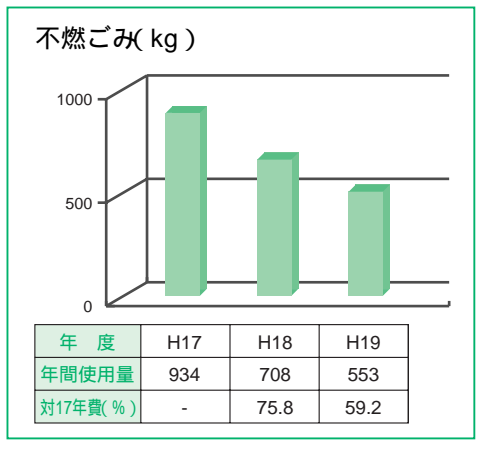
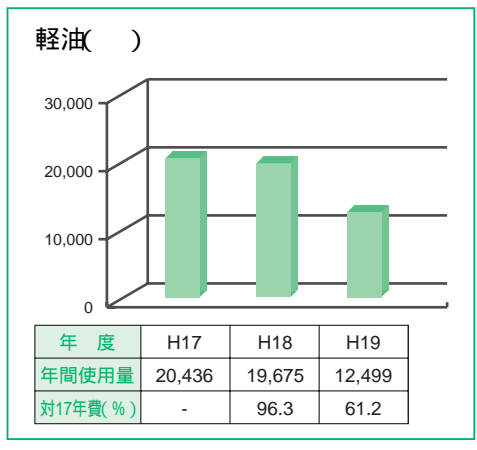
ガソリン・軽油の使用量

ガソリンの減少原因は、公用車の買い替えによる燃費改善や、職員がアイドリングストップなどのエコ運転を実践したことが理由と思われます。また、軽油の減少原因は、新学校給食センターの稼働(PFI事業)により、給食センターの配送車が市の管理下から外れたことが主なものです。



廃棄物の処分量

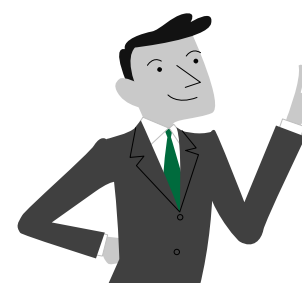
可燃ごみの主な減少原因は、学校給食センターの調理ごみの処理方法を変更したことです。不燃ごみの減少原因は、学校給食センターの食材について、包装を減らすなどの工夫を進めたことが主なものです。



市役所では、地球温暖化対策や環境保全のために、さまざまな活動を進めています。活動のうち、日々の業務の中で、光熱水の削減を目的として行っている活動を紹介いたします。

電気の使用量を削減するために：
 ノー残業デーの実施
 未使用時や昼休みの照明、OA機器の電源OFF

冷暖房の温度管理の徹底
 (冷房28度、暖房20度)
 エレベーター・自動ドア使用の自粛



水の使用量を削減するために：
 トイレの二度流しや手洗所の流し放しなど、無駄な水の使用の自粛



紙の使用量を削減するために：
 両面コピー、両面印刷、ミスコピー用紙の再利用の促進
 庁内ネットワーク活用によるペーパーレス化の促進
 会議資料の簡素化
 外注印刷物の作成部数の最小限化、使用する紙やインクへの配慮



廃棄物の処分量を削減するために：
 再資源化できない製品の利用を自粛
 納入業者に対する簡易包装納入の徹底
 リサイクルの推進(使用済用紙・段ボール・紙容器・ビン・カン・ペット)

トボトルの使用済み封筒の積極的再利用
 浄化センターで発生する汚泥のリサイクル
 燃料の使用量を削減するために：
 アイドリングストップの推進
 ノーカーダーの実施、公用自転車の使用



これらの活動は、一人一人の効果は小さいものですが、職員全員で行う積みかさねにより、大きな効果を上げることが出来ます。市役所では、これからもさまざまな活動を進め、地球温暖化防止や環境保全に貢献します。

問合先 環境課